

【新川地区】C・S地区ミーティング

とき 平成30年9月26日（水）19時～

ところ 新川公民館

出席者 73人

Q1【そのほか】

市役所入り口の受付係が外部の職員と聞いたが、市役所の業務として必要な役割なのか。

A 総務部長

受付係は外部の業者に委託している。業務の内容は、来庁した市民の皆さんへの案内で、それ以上の付加価値として事務的な業務までは考えていないが、少しでも市民の皆さんのお手伝いができるよう委託業者に提案したい。

Q2【そのほか】

市役所に伺った時に職員の窓口業務の対応が上がっていると感じるが、税務課の案内係として常に職員が立って待っている。そこまでの対応が必要か。

A 市民協働部長

9時から16時まで案内担当をつけている。税務課は窓口が広く、市民の皆さんが来た場合一番近い固定資産税係が数人立って対応しているため一時事務が止まってしまう。他市町では受付番号で対応しているが碧南市はそこまでは出来ていない。次年度から市民課の窓口が拡張するため税務課がもっと奥になるので、案内担当は必要かと考えている。

A 市長

10年程CS（市民満足度）マナー研修を行っている。職場の中では職員のマナー過剰に見えるかもしれないがCS（市民満足度）向上のため職員が一生懸命やっている。職場の中でのご理解いただきたいが、市民の皆さんが過剰に感じてしまうのは良くないので、頂いたご意見は現場に伝える。

Q3【福祉・子育て】

今年、3年に1回の介護保険料の見直しがあった。その関係で、介護保険料の通知は4月にあるが、4月、6月、8月は暫定的な保険料の支払いを行い、10月から本計算された保険料を支払っていくことになっている。3年に1度このサイクルがあるのであれば、改定年度に合わせた10月開始にできないか。

A 健康推進部長

10月開始になれば事務も簡略化されるが、これは制度として行っているため碧南市独自では変えられない。4月、6月、8月の仮算定期間を設けているのは、本計算が始まる前に保険料を平準化し、前年度と比べ変動があった場合の負

担を少なくするためのご理解頂きたい。

Q 4 【そのほか】

市役所の電話にダイヤルイン方式を採用してはどうか。

A 総務部長

必要性は感じており検討はしているが、費用対効果を考えると実施に掛かる費用が高いため過去に断念した経緯がある。導入の必要性は今もあると考えているため、引き続き検討していきたい。

Q 5 【道路・下水道】

道場山安城線について、整備できるかできないかも含めて今の進行状況を伺いたい。

A 建設部長

道場山安城線について、整備する可能性はないとは言えないが、今の状態で市道に格下げは維持管理費が掛かるため避けたい。側溝等について全て県で修繕し、その上で引き取りたい。代替路線としてキネマ通りを提案できないか県に相談しているが、まずは旧道の側溝等の入れ替えを実施した上で考えていきたい。

Q 6 【防災・防犯】

地域で消防団員の確保に向けて活動しており、先日程行われた消防団員勧誘に関する打ち合わせ会に出席した。そこで配布された市の資料には、消防団についてとても立派なことが書いてあったが、市の考える消防団活動と地区で考える消防団活動に対する温度に差があると感じた。市の防災訓練などでは避難所に避難した人達で協力して対応していくことになっているが、そういった時に経験値のある消防団に活躍して頂きたい。

A 市民協働部長

打ち合わせ会でご覧頂いたPRチラシだけでは確保は難しい。去年は新川地区専用のチラシを配布したが団員の確保はできなかった。現役の団員が地区の皆さんと一緒に、実際の活動について直接話すことが一番なので、候補者と会える方策を考えていきたい。

また、避難所について、災害時に消防団は様々な役割があり避難所の運営については難しい。消防団OBであれば可能だが、避難所の運営については自主防災会にお願いしたいと考えている。自主防災会は任期があるが地区によっては任期が複数年の場合もある。避難所は一つのコミュニティになるので、地区で育成、組織していただきたい。

Q 7 【文化・教育】

新川公民館のクーラーの効きが悪く、買い替えの時期ではないか。

A 教育部長

快適に過ごせるように整備はしていきたいが、動いている間は使っていくた

い。新川公民館より古いところもあるため計画的に予算をつけていきたい。

Q 8【文化・教育】

Rond広場は新川小・中学校の6割の学生が通る。その中で、小学6年生の3人が卒業式間に「1年間交通指導ありがとう」とお礼を言ってくれた。是非、感動と喜びを感じられるような教育を続けて頂きたい。

A 教育長

これからも感動と喜びを与えられる人を育てたい。教育関係者にも今回のことは伝えておく。

Q 9【まちづくり】

五十鈴製作所付近に2ヘクタール程の大きさで一番お米が取れる場所がある。毎年68ヘクタールが住宅や工場になる。このままでは100年で田んぼや畑がなくなると言われている。碧南市は農業生産高が72億あると聞いた。都市計画を考えると、農地を守ることも考えていただきたい。農業委員会でも一番良い使い方を考えていくがマスタープランにも入れていただきたい

A 建設部長

産業が活性化しなければ人口も増加しないが、もちろん農業も活性化しなければいけない。専業農家の生産力を上げる施策もしていきたい。貴重な農地を利用するので、農業も工業も商業も発展していくよう考えたい。

A 市長

碧南市の北と南は農業が盛んに行われている。碧南市は優良農地を開発してこなかったが、23号線も近く産業界からの開発の要望もあり、開発を進めていきたい。地元の皆さんの意見も聞きながら進めていくが、今のところ大きな反対はない。西端地区の開発は新川地区の開発にも繋がる。開発が進んでも農家の皆さんを支援するような施策を考えながら進めていきたい。

Q 10【防災・防犯】

市内に23箇所、新川地区に5箇所の避難所があるが、非常に寒かったり暑かったりする時に空調設備、テレビの設置は可能か。

A 市民協働部長

全ての避難所に十分な空調設備が整っているわけではないが、災害時には災害協定先に扇風機や空調を用意してもらおうと考えている。テレビについても全ての避難所にあるわけではないが、碧南市では台風の避難が一番多く、台風時に避難所になる公民館を中心にテレビを整備している。

平成31年9月4日の台風で新川地区のうち603世帯に避難準備情報を流し、避難世帯数は1世帯であった。現状は避難者が多いとは言えないが、災害時には積極的に準備する考えでいる。

Q 1 1 【まちづくり】

町内会を町内会費で運営しているが、町内会への勧誘が難しい。行政として住民票がある人の町内会費を徴収することはできないか。

A 市民協働部長

町内会は任意の団体なので市で徴収することは難しいが、市でも町内会加入を促進するPRをしている。近隣市の中でも町内会加入率は高いが引き続きPRしていく。

防災の点で地区の皆で助け合えるため、勧誘の際にはそういったところもPRしながら勧誘をお願いしたい。

Q 1 2 【環境・衛生】

ごみ収集について、置ける場所があったが収集できないと言われた。ごみ収集のコースを変えることはできないか。

A 経済環境部長

ごみは路線方式で収集していくことになっているため路線内に置いて頂きたい。地区には班などで路線内に場所を決め、まとめた上でごみ収集にご協力いただけないかお願いしている。新しく移り住んだ方にも地区内でご案内いただきたい。

Q 1 3 【環境・衛生】

カラス対策のネットが消耗している。何とかならないか。

A 経済環境部長

カラスの駆除を進めている。現状、具体的な解決策はないので検討する。

Q 1 4 【まちづくり】

いきいきサロンをやっているが高齢者の方の交通手段がない。臨時でくるくるバスを運行することはできないか。

A 経済環境部長

くるくるバスは元々碧南市民病院への交通手段として考えているため、いきいきサロンの利用者を優先にくるくるバスを動かすのは難しいが、3年に一度見直しを行っているので色々な意見を聞きながら良いものにしていきたい。

Q 1 5 【防災・防犯】

非難所マニュアルを作成し、来月、新川地区の5,000世帯に全戸配布を行う。公助に頼るのではなく自助や共助を考えるものにしたいたいと考えている。連絡委員や区長がなにをしなければいけないのかを記載している。

災害時、水の供給が途絶えた時、幹線配水管が通る30数箇所の浄水栓まで行けば水が得られるそうだが、新川地区には幹線配水管がない。碧南市には給水用のタンクが2つあると聞いたがそれだけで足りるのか不安がある。震災時に水が確保できるよう、5ヵ年計画に盛り込んで欲しい。

A 開発水道部長

幹線配水管には500mに一箇所給水水栓を作っているのですが、災害時には新川地区に近い給水水栓を利用していただきたい。また、災害時には日本水道協会の給水の支援を受ける予定でいる。5ヵ年計画に盛り込むことは考えていないが、地区には老朽管が多く、耐震管になっていない水道管が多くあるので、老朽管を順次耐震化する形で対応していきたい。

【中央地区】C・S地区ミーティング

とき 平成30年9月27日（木）19時～

ところ 中部公民館

出席者 49人

Q1【文化・教育】

小学校の冷房を順に設備していくと聞いたが、体育館の冷房設備はどうか。

A 教育部長

体育館の構造がエアコン設置に対応していないため設置は難しいが、災害時には避難所にもなることからスポットクーラーを設置できないか検討している。

Q2【環境・衛生】

ごみ出しの決まりを守らない方がいる。台風時にごみが飛ぶ、夜のうちに出すと猫が荒らすなどの問題がある。市も啓蒙しているがもう少しPRしていただきたい。

また、ごみ出しネットは5軒ないともらえないと聞いているが、少なくとももらうことはできないか。

A 経済環境部長

ごみ出しのルールについては広報へきなんを通じて周知している。ごみカレンダーにも記載し周知しているが、マナー向上につながるよう今後もPRしていきたい。

ごみネットについては現状を確認して検討したいので、後日窓口で詳しい話を聞かせて欲しい。

Q3【道路・下水道】【防災・防犯】

道場山一丁目の樹木が倒れ火災と停電が発生し、民生委員、市議会議員、連絡委員で対応したが。市長マニフェストの中に安心安全とあるが、今回の様な事故も考え、樹木の剪定などはどうお考えか。

A 開発水道部長

高い木は年に1回、低い木は年に2回の剪定をしている。台風の接近に備え、樹木が倒れる危険のあるものは事前に何本か抜いて対応している。皆さんの身近に危険な箇所があれば、ご連絡いただきたい。

A 市民協働部長

台風21号では市内の停電が3,300戸あった。非常食や水、懐中電灯は皆さんでも事前に準備いただきたい。

Q 4 【道路・下水道】

今回樹木が倒れた場所は電線よりも高い木が多くあった。市では対応を考えているのか。

A 開発水道部長

明日現場を見て対応していく。

台風21号で20本近い樹木が倒れた。市としても年に1回剪定をしているが、今後も注視しながら管理していく。

Q 5 【そのほか】

広報へきなんの配布について、1日号と15日号をその日に町内の方の手に渡そうと考えると、市からの配布後、2日間で配布しなければいけないのが6回、3日間で6回、4日間で2回あり、この期間で連絡委員から班長さんに配布して地区の皆さんに届けるのは難しい。期間に余裕を持ってないか。

A 総務部長

連絡委員が余裕を持って配布できるように、早めに渡る方法を検討したい。

Q 6 【道路・下水道】

地区から下水が臭うので対応して欲しいとの苦情があった。多くの家庭が下水道の接続が可能だが、下水道普及率は2割から3割と聞いた。今後、多くの市民が下水道を活用するようになるのか、市はどう考えているのか。

A 開発水道部長

市全体の接続率は82%、接続の推進委員も増員し平成29年度は3,398戸訪問し177戸の接続があった。接続が難しい世帯は高齢者のみの世帯が多いので、職員も積極的に訪問しチラシの配布も行っている。今後も普及率が増えるよう努めていきたい。

Q 7 【まちづくり】

保健センターの近くのくるくるバス停留所の椅子が腐っている。他の停留所でも同じことがあるのではないか。一度点検できないか。

A 経済環境部長

椅子の多くは付近の方のご好意で設置して頂いているが、市で設置していないものは設置者を確認して撤去をする手続きを行うので少し時間を頂きたい。保健センターの停留所については早速に対応する。

Q 8 【文化・教育】

今年のような猛暑は子どもたちの体調が心配。夏休みや春休みをずらせないか。

A 教育長

義務教育の場合は県レベルで対応していく。そのような話は話題にも出ていない。何かあってからでは遅いので、子どもたちの安全を第一に考え検討していく。

また各学校の行事もしっかり把握し、時には中止という決断も考えられるようにしたい。ただ、全てをやめると教育として何もなくなってしまう。命を一番に考え進めていきたい。

Q9【文化・教育】

ビーチバレーコートに観覧席がない。

A 教育部長

2026年アジア大会ビーチバレーの試合会場を予定しているが、仮設で観覧席を用意する予定でいる。この夏はビーチスポーツの全国大会も開催し、中での観覧も十分出来ているが、大きな大会では仮設の観覧席を検討したい。

【大浜地区】C・S地区ミーティング

とき 平成30年10月2日（火）19時～

ところ 南部市民プラザ

出席者 82人

Q1【まちづくり】

先日の台風で街路灯33機のうち10機のLEDが破損した。駅前商店街も6、7機落ちている。まだ商店街連盟の会議が開催されていないので詳しい被害は分からないが、LEDを1機直すのに3万円かかる。保険は入っているが天災は効かない。市の補助金を受けることはできないか。一度市内の被害状況は確認して欲しい。

A 経済環境部長

今すぐにある補助金はないが、一度検討してどのような補助ができるか考えたい。各商店街の被害状況についても把握したい。

Q2【文化・教育】

今年は猛暑だった。園や小学校のエアコンの設置をどう考えているか。

A 教育部長

来年度に小学校低学年の教室に設置し、その後中学校、小学校高学年に付けていく予定でいる。保育園と幼稚園については、一部未設置の教室があるため、この9月の議会の中で補正予算という形で承認いただき進めていく。

Q3【まちづくり】

市政アンケートについて、その回答の全てに対してでなくても良いが、優先順位をつけてでも良いのでその結果に対応できないか。市は市政アンケートの結果をどう考えているのか。

A 総務部長

市政アンケートは8月頃実施している。1,500通送付し回答率は56%、そのうち92%が「住みやすい」「どちらかと言うと住みやすい」としており、碧南市に対して評価をいただいているという考えを持っている。このアンケート結果が行政にどのように反映されているかという点は、市は予算と、3カ年の予算を作る実施計画があり、その中の目標達成状況の中に市政アンケートの結果を反映している。アンケート結果をそのまま事業に反映するわけではないが、目標が達成できているか確認し、その進捗状況をみながら翌年の予算や3カ年の計画に反映している。

Q4【道路・下水道】

臨海公園を歩いていたら大きな木が倒れていた。台風の影響だと思うが、中を

見たら空洞だった。だから倒れたと思うが、他の木も調べる予定はあるか。

A 開発水道部長

21号の台風で市役所の前の木も倒れたが根元が腐っていることが分かった。外から見ると分からないため、市内の街路樹を全て調べ極めて危険な4本の街路樹を切った。次に危険な街路樹については今後順次対応していく。公園についても、今後重点的に調べていく予定でいる。

Q5【環境・衛生】

市役所駐車場の草が伸びており通路から駐車場が見にくい。何とかならないか。

A 総務部長

市役所駐車場については3月から11月まで、月に1度職員がボランティアで草刈りを行っている。また、年に1、2回業者に剪定してもらっているが、時期によっては草が伸びてしまう時期もあるため、剪定の適切な時期を見直し業者に剪定してもらうよう検討する。

Q6【そのほか】

最近いちじくとにんじんについて新聞記事が載った。いちじくについては安城市から始まり碧南市は出てきていない。にんじんについては西尾市から始まり碧南市の名前は出てこなかった。碧南市の生産量はどうなのか。地域の集まりでも新聞に碧南市が掲載されるのは少ないと話していた。新聞が一番安い広告だと言う話もある。現状として地方記者との関わり方はどうなのか。

A 経済環境部長

いちじくについては安城市の生産量が多い。昔は碧南市も多かったが、碧南市のいちじくが劣っているわけではなく、品質の良いイチジクを生産している。にんじんについては碧南市が県内トップ。年間で10億円程度の売り上げがある。にんじんについてはへきなん美人をブランドにんじんとして出しており、色々な場所へ持って行っている。農産物の有名な北海道の方が食べて、こんなに甘いにんじんは食べたことがないと褒めて頂いた。今後もPRに努めていきたい。

A 総務部長

広報へきなんは月に2回しか発行できないが、新聞は毎日発行しているためPRの媒体とて大事なものと考えている。新聞の掲載については、近隣市と比べ碧南市の記事も多く載っている。一番大切なのは報道関係の方々との人間関係だと思っている。碧南市としては報道関係の方々との関係も良好で情報交換の場を多く持っており、良い関係でいる。

Q 7【道路・下水道】

大浜小学校北交差点に黄色いポールが立っているが、進行方向が分かりにくく、間違えて反対の方向に行ってしまう場合があり危険である。

A 建設部長

国道を管理しているのは県の知立建設事務所になる。以前からそういった指摘があり、知立建設事務所に話をしているが、逆走しないために黄色いポールを立てているとの話だった。ポールを立てることによって逆走してしまう危険があるなら改めて県に提案する。

Q 8【道路・下水道】

大浜小学校前の道の拡幅工事を行っているが、歩道が片側にしかないため、登校の時は歩道を通るが、下校時は反対側に歩道がないため歩道を使わないで帰っていく。細くても良いから両側に歩道をつけられないか。

A 建設部長

現在は片側のみの歩道の整備を行っている。子ども達は右側通行を守っているため登校は良いが下校時は歩道を歩かないとのことなので、下校時については歩道を歩くよう学校とも話して検討していく。

Q 9【道路・下水道】

知立建設事務所に聞いたところ、今年度中に測量し赤いラインをつけて誘導する予定でいると聞いている。また、下校時の歩道についても、右側通行を守っている小学生に指導できないか。

A 大浜小学校校長

下校時には先生が街頭指導をしながら安全に帰れるように努めていく。

Q 10-1【環境・衛生】

浜寺町から本郷町にかけて埋立地があり、そこに排水溝のような溝がある。以前よりは良くなったが、泥が溜まっており、特に夏は臭いがする。今までの対応と今後の対応について伺いたい。

A 建設部長

公用水面は愛知県の管理になるが、昔は大浜漁港で行き止まりで水の入れ代わりがないということで、その改善策として漁港の方から水を入れ、水が入れ代わるようにした。また、過去には臨海公園の樹木の葉が落ちることが原因ではないかと話があり剪定をして葉が落ちない対策もしている。

また、抜本的には下水道整備が進まないと家庭排水が溜まるので下水道整備も進めている。今後は下水道の接続率を上げて水がきれいになれば改善もされてくるので、県にも働きかけていきたい。

Q 10-2

泥を取ればきれいになるのではないか。

A 建設部長

県に相談する。

Q 1 1 【そのほか】

ふるさと納税で5億円あまりの寄附があったと聞いた。その使い道はどうなっているのか。

A 市長

ふるさと納税は4年前から進めておりこれまで21億円集まっている。使い道は寄附者が選べるようになっている。一番多いのは「市長にお任せ」だが、総合計画も含めより良い市をつくるため一般財源に充当している。碧南駅の改修や付近の道路の整備、レールパークは完成したが碧南駅まで繋がるようにしたい。2026年のアジア大会ではビーチコートが使用される。そこに向けて整備していきたい。今後もより良い市制運営のために使っていきたい。

Q 1 2 【まちづくり】

空き家対策について伺いたい。今後益々増えていくと思うが、台風では瓦等も飛んで二次災害になる恐れもある。また付け火も心配である。市が強制執行で撤去できないか。できないのであれば条例を制定できないか。

A 建設部長

市内で約130軒の空き家があり、特に危険な空き家である特定空き家は市内で15軒あり、大浜地区に関わる特定空き家は3軒ある。こういった空き家は所有者を調べて対応をお願いしている。今は指導という形を取っているが、強制執行という形を取ろうとすると1年ぐらいの準備が必要になる。市でも今空き家対策の計画をしているので順番に準備をしていく。

Q 1 3-1 【まちづくり】

碧南駅の改修の話し合いに参加しているが、ロータリーが市の土地ではなく名鉄の土地である。市が土地を買い取り、積極的に改修できないか。

A 建設部長

今すぐに着手できる話ではないが、駅舎を改修した後は、残りを市が使えるようになるため、市が整備する予定でいる。駐輪場については個人の土地になるので、地主の意見を尊重するしかないと考えている。

A 市長

市としても土地の買収を交渉している。価格が折合えば買い取りたい。

Q 1 3-2

碧南駅の南側に約100台収容の駐輪場を作る予定でいる。そこに名鉄が13台停められる駐車場を作る。現在、北側に700台の駐輪場があるが、利用者としては北と南に半々ぐらいの数で駐輪場を作ってくれれば利用しやすい。

【棚尾地区】C・S地区ミーティング

とき 平成30年10月23日（火）19時～

ところ 棚尾公民館

出席者 35人

Q1【道路・下水道】

レールパークの旧踏切の交差点に信号機または標識をつけてほしい。それから、棚尾商店街のなか2箇所、一方通行のところがあり、ここ2、3年間逆走する車があるので分かりやすい標識をつけてほしい

日本体育の前（交通事故があったところ）が暗い。源氏町の北西の街路灯が切れてるので、ともに灯りをつけてほしい。

A 開発水道部長

レールパーク側に鋳物の車止めを設置している。車止めを倍増して自転車が飛びださないよう対応しているが、それ以上狭めるとシニアカーや車椅子などが通れなくなり、増やすことは厳しい。レールパーク側、道路側にそれぞれ注意喚起の看板を設置し、危険地区のマーキングもしている。県道にかかわる部分は横断歩道を知らせるマークなどをつけるよう要望は出している。危険な箇所などは承知しているので今後も県に働きかけていく。

A 市民協働部長

一方通行の場所は、どういう啓発方法が一番良いのか警察と協議していく。死亡事故があった現場については、県、警察、安協、市で事故対策本部をたてて事故原因を協議したが、現場が暗いことも加味してもう一度知立建設事務所と協議していく。源氏町北西の街路灯は早急に現場を確認させていただく。

Q2【防災・防犯】

志貴崎町は地盤が低く災害時は不安だ。災害時の避難勧告など地震対策を市のほうではどのようにやっているのか。

志貴崎町の喫茶店の前の道で4、5年前高齢者をひいてしまう事故があったので信号機を設置してほしい。

A 市民協働部長

避難勧告が出された地区には広報車を出している。防災メールでも避難勧告等通知するので携帯をお持ちの方は是非登録してほしい。地震対策については、まず津波がくるものだという考えで行動していただきたい。液状化のおそれもあるので車での避難は避けて、徒歩でなるべく高いところに逃げてほしい。一時退避場所として指定している場所があるのでハザードマップを参照してください。

信号機については警察が担当だが、設置するには様々な条件があるので、市としてはまずは現場を確認したうえで警察に相談したい。

Q 3 【そのほか】

青少年推進委員会に市の職員が参加するが、居眠りをしている。なんとかならないか。

A 総務部長

恥ずかしいことです。該当者に直接指導させていただきます。全庁的にも注意喚起として通知します。

Q 4 【そのほか】

日中イベントがあるときに花火があがることがあるが、消防署に届出をしていると思うので、消防署から情報をもらって市ホームページに本日のイベント情報を掲載してほしい。

A 総務部長

ホームページのリニューアルをすすめている。すべてのイベントで花火をあげているわけではないので、消防署への確認含め検討させていただく。

Q 5 【防災・防犯】

棚尾小学校東門のある通路は幼稚園の登園時には交通規制がないので、危ないとの意見がでていいる。できればその時間帯も交通規制をお願いしたい。

A 市民協働部長

交通規制については警察がやっている。周辺地域の住民の同意を得て要望がでてきてはじめて警察も動ける。警察に要望を出すにはどうしたら良いか市から確認し、分かり次第春日町内会長様に連絡をします。

Q 6 【そのほか】【文化・教育】

昼間、庁舎東南やATMのほうの駐車場がいっぱいで止める場所がない。違法駐車を取り締まることはできないか。

芸術文化ホールのピアノがかなり劣化しているので、オーバーホールをして元のいい音が出るようにしてほしい。

A 総務部長

文化会館の駐車場が空いているときはそちらに誘導し、庁舎駐車場を空けるなどの案が出ている。今後の協議の参考にさせていただく。違法駐車については担当者に伝えて巡回強化の検討をしていく。

A 教育部長

毎年調律をやっているが年々音が乱れていることは確か。今年度から予算を計上しオーバーホールを始めてきたが、1台あたりかなりの費用がかかるものなので、使用頻度の多いものから予算を計上しつつ進めていきたい。

Q7【まちづくり】

空き家について近所の人からよく相談を受ける。市は他人の土地になかなか手が出せないということですが、空き家対策について市でやっていることがあれば教えてほしい。

A 建設部長

空家法ができて、昨年度市でも空き家等対策計画をつくった。危なくて住めないような空家は特別空家ということで指導していく。最終的には市のほうで除却することができるが、法的手続きのためそこまで至るには相当な年数がかかる。市としても相談があれば土地の所有者に対して空家対応の助言をしているので、近所の気になる空家について相談をいただければ積極的に協力していく。

Q8【福祉・子育て】

市民病院に緩和ケアの相談にいったが長期入院等の場所はなく、付近では安城更生病院か刈谷豊田総合病院しかなかった。市民病院も緩和ケアをやってももらえないか。

A 市民病院管理部長

緩和ケアについては市民病院は立ち遅れている。今すぐ完全な整備をすることはできないが、今後緩和ケアは重要なテーマになってくるので整備を進めていく。

Q9【環境・衛生】

碧南市はごみの分別がすごく細かく、良いことをやっていると思うが、周りの市にもやるよう呼びかけているのか。

A 経済環境部長

碧南市は全国的にみてもごみの分別を先駆けて行ってきている。分別することが市民にも定着していて良いことだが、最初のころに比べると分別の種類は少なくなってきた。

自治体によっては分別を業者に委託したり、技術革新にともなって自動的にごみを分別するようなシステムを導入したりしているが、その分お金をかけている。ごみの分別についての考え方は自治体ごとに異なるので、碧南市の方法を見習うよう呼びかけることはしていない。

A 市長

国からの通達なら良いが、碧南市が他市の姿勢に意見することは内政干渉のひとつになってしまう。

Q10【まちづくり】

ごみの立ち当番をなんとかしてほしいとよく相談を受けるが、市でシルバーに一律で委託することはできないか。

A 経済環境部長

地区によってはシルバーに頼んでやっているところもあるが、地区が判断し、お金を出してやっている。市としては、そこで顔を合わせることで交流が生まれコミュニティの場所になりえると考えているので、市から一律で委託することは考えていない。

Q 1 1 【そのほか】

市民病院はなぜ日曜日はやっていないのか。法的なことなのか、人力的な問題なのか。

A 市民病院管理部長

病院職員は公務員であるのでカレンダーどおりの勤務であるが、土・日曜日、夜間については当番制で救急外来として対応しているので、掛かることはできる。緊急性の高いものでない場合は、いきなり救急外来に掛かるより、まずは自分の体の状態をよく知っているかかりつけの医師に相談していただきたい。

Q 1 2 【まちづくり】

ごみ立ち当番について、コミュニティが深まる面はたしかに良いが、負担になっているのも事実。町内全員のことだから全員でやれば良いと思うが、町内会に入っていない人はただ捨てるだけで負担がなく、抜け道となってしまう。誰もやらなくなってしまわないように、手当してもらえると助かる。

A 経済環境部長

町内会加入者にはごみ袋80枚に加えさらに20枚配っているのでそこで差をつけている。

A 市民協働部長

町内会加入については市全体の問題であり、アパートが多いところは町内会加入率が低い。入ってほしいが強制はできないので、町内会でその魅力を発信して行ってほしい

Q 1 3 【まちづくり】

病院、あおいパークなど市の重要施設が市の端っこばかりにある。もう少し中央に施設をたてて活性化できないか。

A 市長

まちなかは人が集中し場所がなく、土地も高いためコストもかかり開発が本当に難しいため、集客施設は端にできる。色々な要素が重なり市の中心地に集客施設をもってくるのは難しい。

Q 1 4 【文化・教育】

先生方がよく頑張っており、碧南市は補導される子がいないというのはすばらしい。これからも子どもたちのために尽力してほしい。

A 教育長

ありがとうございます。不登校については少し課題があります。全国平均的には半分以下だが、今後も子どもたちのことを考えていきたい。

【旭地区】C・S地区ミーティング

とき 平成30年11月13日（火）19時～

ところ 東部市民プラザ

出席者 58人

内容

Q1【文化・教育】

西尾市が歴史検定試験を行った、碧南市も市制70周年を起点に、市民が地区の歴史を学ぶ機会として実施したらどうか。

A 教育部長

広報等で碧南の歴史を紹介するコーナーを設けているが、別の形で地区の歴史を伝えていくことも所管課と協議していきたい。

Q2【防災・防犯】【その他】

2030年に市がどういうことをやるのか。50年後はどうか。宇宙に関する企業もあるが、明るい未来をどう描いているか教えてほしい。

先日の台風の避難勧告で東部市民プラザにも50人ほど避難者がきて、2人の市職員がてんやわんやだった。私たち市民も何ができるか市と一緒に考えていきたいと思うがどう考えているか。

多くの人に青色回転灯パトロールカーに乗ってほしい。講習会を設けるので、より多くの人に受けて乗っていただき、地区の子ども達の安心安全を守っていきたい。

A 市長

宇宙については2023年には6人乗り有人宇宙船をつくと聞いている。ゆくゆくは100人乗り1人40万円で宇宙にいける時代が来る可能性がある。まちでは、大浜地区は碧南駅付近を改修している。美術館前の道路も一方通行が双方通行になって歩道ができる。西端地区には、まず30haを工業地帯にして開発をすすめるマスタープランを策定している。北新川駅の前も大きく開発されていくと思う。あとは具体的な話は現段階では分からないが、皆さんとともに考え、市民憲章に基づいて理想のまちづくりをしていきたい。

A 市民協働部長

台風24号では報道によると伊勢湾台風並みという情報だったので、市も避難勧告を出し、市全体で557人という過去最多の避難者がでた。基本的には台風対応はすべて市職員がやる。しかし、地震などで家屋が倒壊し避難所生活を送らなければならない場合は、避難所の運営や避難者同士のコミュニティ作りなどは、職員は補助はするが、避難者の皆さん自身が主体となってやっていただきたい。これからも市から情報を発信するが、すべての市民の皆さんにはなかなか

行き届かないので、皆さん側からも情報を取りにいくようお願いしたい。

青色パトロールカーも是非皆さんに協力していただきたい。パトロールカーだけでなく、防犯チョッキを着て歩くだけでも防犯効果はあるので、市民の皆さんで地区を守っていただきたい。

Q3【防災・防犯】【文化・教育】

市内に消防団員を応援する店があるということが分かったが、県の取組みと聞いた。消防団員確保のため、市が主体となって消防団員を応援する店の取組みはできないのか。例えば、一店逸品マップにも消防団を応援する店とのせてほしい。

高齢化がすすみ、市も健康づくりとしてウォーキングを推奨するなかで、今あるウォーキングマップは情報が古いので、新たなマップを作してほしい。

A 経済環境部長

一店逸品のパンフレットは商工会議所が作成している。一店逸品に限らず、市や商工会議所が作成するパンフレット等にのせることは協議していきたい。

A 教育部長

現在のウォーキングマップは、平成12年に作成したもので情報が古いため、新たなマップの作成を考えている。健康づくりにつながるような、使いやすいマップを作りたいので、皆さんの意見も聞きながら準備を進めていく。

Q4【防災・防犯】

まず、広藤園付近に街灯をつけていただき感謝します。

消防団員の処遇について、碧南市の活動報酬は1回につき3,500円とあるが、消防庁は7,000円と公開している。市によっては活動内容に応じて金額が違ってくるもあるが、これはなぜか。協力事業所の範囲ももう少し拡大してほしい。個人に対する勧誘には限界があり、事業所に依頼することが多いため、事業所から後押しがあればこちらも話をしやすい。

あいち消防団応援の店についても、もっと公開してほしい。広報等で宣伝してはどうか。

A 市民協働部長

報酬については、以前は1,800円だったが、平成27年に近隣市水準並の3,500円に引き上げた。消防団員を輩出した事業所に対しては、補助金制度がある。これは全国で碧南市だけが行っている制度である。

消防団応援の店についてはPRを続けていく。今後は商店街に対しても何かメリットを設けられないか、積極的に検討していきたい。

Q5【そのほか】

最近では町内会に加入する人がいない。市として何か対策はしていないのか。

A 経済環境部長

町内会加入者と未加入者の違いとして、市指定ごみ袋は年間80枚と100枚の20枚の差を設けて配布している。町内会未加入者は環境課にごみ袋を取りに行く形になっているので、その都度町内会に入ってもらいたいと声かけをしている。

A 市長

市指定ごみ袋の無料配布において、町内会未加入者には配布しないというようなことまでの差別化は出来ない。

Q6-1【福祉・子育て】

チャリティーバザーへ品物を提供する場合、今までは公民館に持参すればよかったが、今回は福祉課やあいくるに限定したのはなぜか。身近なところを削ってしまえば、提供する人が少なくなってしまうのではないか。

公民館で行われる行事に、公民館の職員の姿が全然見えないのはなぜか。地域と行政が一体となるべきではないか。

民生委員が安否確認の訪問をするなかで、ある高齢者が免許証を返納したいと言ってきた。返納するのに1,200円ほど負担があるそうだが、前向きに返納しようとしている人に個人負担させるのはどうかと思う。その負担を行政が担えないか。

A 教育部長

公民館でチャリティーバザーの品物を預かるのをやめたのは、様々な理由があって館長が慎重な判断をしたのかもしれないが、もう一度館長に話をしたいと思う。

A 市民協働部長

免許返納については無料にできないか検討したが、県の条例で手数料を徴収すると定められているので、市が無料化しても市が県にお金を納める形になることから難しい。交通事故を減らすための対策は考えていく。

A 市長

高齢者にはどんどん外に出てほしい。そのための施策は色々考えていく。

Q6-2

わくわく驚塚盛り上げ隊は14人ほどメンバーがいる。公民館でのイベントに市職員も出てもらうのは忍びない場面も多々あるので、これから自分たちもいろいろ考えていく。

Q7【そのほか】

C・S地区ミーティングには何回も出ているが、いつも参加者が関係者ばかりである。もう少し一般市民が集まりやすい時間帯や方法はないか。

市民相談の件数があまりにも少ない。みんなが相談しやすい時間帯や日程に

変えたらどうか。行政書士が相談委員のときはたくさんくる。

碧南市民病院は、紹介状をもっていかないと診てもらえないというのはこの先どうなっていくのか。

市役所は大体3年周期で異動があるが、慣れたところに異動してしまう。もう少し長くないか。

A 総務部長

現在はC・S地区ミーティングは平日夜しかやっていないが、良い時間帯、日程がないか協議していく。

人事異動については基本的に3～5年の在職期間の職員が対象だが、専門的な部署については本人の希望があれば長期間在籍する例もある。

A 市民協働部長

最近では市民相談の内容が変わってきたように思う。現場のほうでも、相談の申し込みの方法を検討しているところである。

A 市民病院経営管理部長

医療機関というのは3種類ある。1つ目は身近にある診療所、2つ目は市民病院のような2次救急を行うところ、最後に安城更生病院や刈谷豊田総合病院のような3次救急を行うところ。まずは自分の体をよく理解している地域のかかりつけ医で診てもらってから、状態に応じて紹介状を書くのが医療としても本来あるべきかたちであると考えている。

A 市長

今後の市民病院合併については来年6月頃に結論が出る予定だが、西尾市には碧南市側で建てる条件を提示しているので、今後も市民病院は碧南市にある。医療機器も最新のものを揃えているので、まずは碧南市民病院を頼りにしていただきたい。

Q8 【そのほか】

市民病院の消化器内科が医師不足で水曜日以降休みになってしまっている。消化器内科の先生を早く戻してほしい。

A 市民病院経営管理部長

2年前は先生が4人いたが、皆開業し今は1人になってしまっている。やむを得ず診療制限をさせてもらっている。全国的な問題だが、医師不足が続いている。名古屋大学のほうにも何度かお願いしているが、大学自身が医師がいないという状態にある。ご迷惑をかけているが、なんとか状況が改善されるよう努力していく。

【西端地区】C・S地区ミーティング

とき 平成30年11月21日（水）19時～

ところ 西端公民館

出席者 51人

Q1【防災・防犯】

県営の油ヶ淵水辺公園は駐車場がきちんと管理できているので、このまま保ってほしい。しかし、水田を公園に変えたことで、押さえられている水が災害時に住宅地へ流れてくるのではないかと不安だが、大丈夫か。

A 開発水道部長

今まで西端地区の50mm降雨への対応率は65%だったが、中田川ポンプ場が完成したことで88%の対応率となった。今まで西端地区は冠水するところもあったが、今年の台風で冠水することはなかったので、徐々に良くなってきている。県営公園は排水も考慮したつくりになっているので、安心してほしい。

A 市民協働部長

台風24号では、高潮・洪水ハザードマップにのっている浸水エリアについては伊勢湾台風並みの被害になるとの前情報もあり、避難勧告を発令した。

Q2【道路・下水道】【文化・教育】

半崎町6丁目の歩道整備をずっと前から要望しているが、30mのうちやっと20mほど歩道ができた。あと少しで明治橋までつながるので、早く作ってほしい。

西端公民館をよく利用しているが、トイレが男女共用なのは公共施設としてどうなのか。新しく作ってほしい。

A 建設部長

歩道がまだできてないところが2か所、吹上町と洲先町の辺りにある。吹上町はまだ了承が得られてないが、洲先町の方は了承が得られているので、徐々に進めていく予定である。

A 教育部長

西端公民館以外の公民館も含め、全体を見て修繕箇所を決めているため、まだ手をつけられていない。ただし老朽化が進んでいるため、検討する可能性はある。

Q3【防災・防犯】

台風がくると詰所待機になるが、今回の台風で詰所が雨漏りどころか下からも水が入ってきて、団員たちも座れない状態になってしまった。写真も撮っているので確認してほしい。

A 市民協働部長

担当職員で現場を確認し、対応する。

Q 4【環境・衛生】

西端地区の無我苑の駐車場でやっている資源ごみステーションがとても暗い。照明などはつけてもらえないか。

A 経済環境部長

まず具体的な現場を確認して、検討させていただく。

Q 5【環境・衛生】【まちづくり】

ららくるにしばたの広場の資源ごみステーションなど、冬になると暗く当番の人が自分の車のライトをつけてやっているところがある。照明がつけられないか。

西端の工業団地という話をよく聞くが、具体的にどんな感じになっていくのか教えてほしい。

A 経済環境部長

街路灯をつける、暗い時期だけ明るい場所に変更するなど、場所ごとに解決法を考えていきたいと思う。

A 建設部長

都市計画マスタープランで10年後を見据えて計画作りをしている。今現在では、工業用地については井口町の平山住宅の北側あたりに、2つの業者が工場を建てる予定と聞いている。これから36haほどを工業用地にしたいと考えているが、具体化するまでには1~2年かかると思われる。

Q 6【文化・教育】

西端小学校校庭のバックネットが機能していないので移動できないか。

A 教育部長

場所を変えるのは容易ではない。学校や利用者からは使いづらいという意見を聞いたことがなかったので、色んな人の意見を聞きながら考えていきたい。

Q 7【防災・防犯】

消防団6分団詰所の敷地がすごく狭い。そのため、歩道に車両の一部が飛び出て活動しているようなので、歩道を走っていた自転車が車道に一瞬出ることになってしまい危険なため、広い場所に移転するか、施設改善をしてほしい。

A 市民協働部長

消防団詰所の移転については今すぐできることではないが、歩道の件は消防団とも改善案を検討していきたい。

Q 8-1【防災・防犯】

平山住宅付近、霊園に入る道など道路に車を止められてしまって、困っている。農道で駐車違反の標識もない。団地のなかに駐車場がないから外に停めているというが、なんとかしてほしい。

A 市民協働部長

駐車禁止ではないとなるとすぐに対応できるものではないが、一度警察と協議して検討していきたい。

Q 8 - 2

ここに駐車しないでくださいというものを日本語、英語、ポルトガル語で道路と壁面貼っていたが今はとれているので、また市と協力しながら貼っていく。

Q 9 【福祉・子育て】

あおみJセンターで料理や内職のボランティアをしているが、自動ドア等が壊れていて、施設が暗い感じがする。修繕をしてほしい。

A 福祉こども部長

今のあおみJセンターの状況をはじめて聞いた。自動ドアやキッチン等、一度現状を確認し検討したいと思う。

Q 10 【防災・防犯】

10月下旬から11月にかけて消防団員の勧誘をしているが、団員の確保が難しい。週2回7時～8時半にやっているが、昨年だと10月から年明け2月まで勧誘活動が続いたらしい。西端で団員を10人確保することは難しい時代になってきている。消防団という組織のあり方を検討して行ってほしい。

A 市民協働部長

団員確保については連絡委員の方々だけでなく、行政も現役団員も動いている。魅力作りの1つとして消防団員を輩出してもらった事業所にメリットを設けているが、それはかなり利用されている。今後その策もどうなっていくかも含めて、考えていきたい。

Q 11 【防災・防犯】

今年は台風が多くあり、西端公民館が防災拠点となっているので詰めていたが、何の情報も入ってこなかった。この現状はよくないので検討してほしい。

外国人への対応について、市に依頼してベトナム語やネパール語などにも対応した文書の作成などはできないか。

A 市民協働部長

台風24号の際には市内35箇所の避難所を開け557人の方が避難した。西端公民館に限らず多くの避難所にテレビはない状態だったので、対応を考えていきたい。

ポルトガル語の通訳は市民課にいるので翻訳等の相談は受け付けるが、それ以外の言語については多様化しすぎて追いついておらず、翻訳対応はできない現状である。

Q 1 2 【そのほか】

昨年、農業者コミュニティセンターの和室からトイレに行くところの途中で雨漏りがあって水溜りができていた。普段は大丈夫だが、災害時にまた雨漏りすると不安なので、なんとかしてほしい。

A 経済環境部長

老朽化しているとはいえ雨漏りに気付かず、誠に申し訳なかった。その件については、修繕をすでに行っているの直っていると認識している。天窓のつなぎ目あたりから雨が漏れたのだと思われる。今後ご迷惑をかけないようにしていく。

A 教育長

西端中学校の雨漏りについては苦戦していた。雨漏りする時と全くしない時があり、庶務課の担当者が何度も確認し改善してきたが、完全には直っていない。完璧に修繕するのは難しいかもしれないが、その都度庶務課で対応していきたい。

Q 1 3 - 1 【文化・教育】

各家庭にある古文書類などを、市で収集や保存をしてほしいと思うが、どう考えているか。

A 教育部長

文化財は基本的には持ち主が保管するものだが、持ち主から文化財課に相談していただければ、保護審議会に対応を検討したい。

Q 1 3 - 2

市のほうから積極的に収集の呼びかけをしてほしい。

A 教育部長

所管課と相談する。

Q 1 4 【まちづくり】

花しょうぶまつりは元々商店街などでやっていた行事だったが、6年程前に商工課のほうでやりたいということで譲った。すると1、2年で行事がなくなってしまった。ここ数年まつりの催しものがどんどん減ってきているが、市はどう考えているか。

A 経済環境部長

6年前と比べて内容が変わってきているようには感じていない。3大花まつりということで桜まつりをもっと盛り上げていこうとはしているが、花しょうぶまつりを縮小していこうとは考えていない。色んな意見を聞きながら検討していきたい。